

# 報告書の構成

## 《本編》

### 1 事故概要と検討会議の設置等の経緯

- 事故概要、上関大橋復旧検討会議の設置

### 2 上関大橋の基本諸元・設計・施工・維持管理及び段差発生後の緊急調査

- 基本諸元・設計、施工、維持管理
- 段差発生後の緊急外観調査
- 橋の状態と調査事項に関する助言

### 3 橋の応力状態を把握するための調査及び解析

- 測量による橋の変形形状の把握
- 測量結果と解析結果の比較
- 日々の応答特性
- 橋の状態の推定や本復旧対策に向けた助言

### 4 本復旧のための調査及び試験

- A 2 橋台部の上部工突起部及び下部工突起部に関する調査
- 鉛直 P C 鋼棒の損傷調査、水の浸入経路に関する調査
- 鉛直 P C 鋼棒の破断形態の推定
- 水平 P C 鋼棒の損傷状況調査
- 応急復旧の荷重の盛替え時や車両載荷試験における橋の応答

### 5 まとめ

- 段差発生の原因、現在の状況
- 本復旧対策の方針と留意点
- 同じ構造を持つ橋梁について

## 《資料集》

- 建設当時の設計計算書や過去の調査・点検の結果
- 段差発生後の外観目視調査結果
- 段差発生事象の解析的検討結果
- P C 鋼棒に関する調査結果 等